

オレンジ漫画での自殺する翔とグループの役割おける 社会心理学からみた分析

序論

自殺は人生を終わらせるために一つの方法である。自殺は個人が意識的に行う行為であり、その理由は、個人が補償を行うために自殺が最善の解決策であると仮定しているからである。これは、個人の精神状態が心理的な痛みを経験し、自殺が痛みを止める唯一の方法で十分なほど長く彼の欲求不満を埋めるためにする。このような自殺の事件は、日本で起こることが多く、特に他人には役に立たず、人生には目的がないと感じる人にとっては自然なことである。日本では自殺の事件がよく起こったので、多くの文学作品もよくこのテーマをして、一つの例はオレンジという漫画である。この漫画では、翔は母の死が自分自身に起因していると感じていたため、彼がしたことに対する償いをするために自らを行うことにした。

本研究では、会話を伴う分析的記述方法を分析データとして使用され、活動、態度、意見、進行中のプロセスなどの関連する問題との関係を説明し、彼の経験について翔の状態への影響を説明する。本研究では、社会心理学、悲嘆、社会的支援という三つの理論を使用している。社会心理学は、様々な要因の影響を受け、コミュニティ内の他の個人や他の環境との関係や相互作用に関係する人の心理的状态を強調する。これらの要因は、個別に行動する意思決定および方法に影響を与える可能性がある。理論としてだけでなく、この研究では、社会心理学をアプローチとして使用している。

悲嘆は、個人が損失を経験するため、心理的な反応の一つである。日常生活では、悲嘆は、通常、死などの人生の喪失感と関連している。Elizabeth Kübler Ross (Santrock, 2004: 272) によると、悲嘆を経験している人は、通常、拒否、怒り、交渉、抑うつ、受け入れという5つの悲しみの段階がある。悲嘆と社会心理学の関係は社会心理学であり、悲し

みは個人の心理的状态を知り、経験に基づいて個人の行動を研究することである。

社会的支援は、受取人に感情的な影響を与える可能性のある周囲環境の支援または支援である。そのような形式のサポートは、情報、感情、道具、および情報のサポートとすることができる。このような社会的支援の形態は、通常、周囲の社会環境から受け入れられる。特に、通常は自然に発生する家族や親しい友人から受け入れられる。

本論

この研究では、主要なキャラクター「かける」が自殺する原因および、そのグループがどのようにして人の心理状態に影響を及ぼすのかについて議論する。第一の要因は、葛根が長引く悲嘆と後悔しているからである。この例は、次の会話に説明される。

翔：うん。その日俺母さんと約束してたんだ。母さんは引越す前から体調がよくなって病院に通ってた。その日は新しい病院へ行く最初の日で俺も一緒に付いて行く約束してた。俺も早く帰るつもりだった。…でもみんなが「一緒に帰ろう」って言うてくれたことが嬉しくて、俺新しい学校で友達できるのか心配だった。だからどうしてもみんなと一緒に帰りたくてお母さんには後で謝ればいって。母さんには「一緒に行けなくなった」ってメールした。でもメールは返って来なかった。母さんは精神的に不安定になって俺がいなくて何もできなくて、俺がちゃんと支えないといけないってわかった。わかったのに…でもその時は「面倒くさい」って思った。そんなに簡単に母さんが自殺するとは思わなかった。ひどい事した…だからさっきお参りで神様に「母さんにごめんって伝えて」って言った。後悔してる…

この後悔のため、翔はついに自分の人生を諦めて、自分のことを考えずに母親が世界に戻ることをできるようにした。また、悲しみを経験していた葛は、家族や友人からの支援を得ていないため、葛藤が思考をすることがより頻繁に現れるようになっている。周囲の環境からの支援や動機の欠如は、彼が世界でもはや必要ではないと考えさせる。

一方、菜穂たちは、10 年前にの自分の手紙を自分に送って翔を救おうとしたとき、手紙を受け取り、翔が自殺しようとする事を知り、友達
は翔が自殺しないようにいろいろなサポートをしてあげた、特に菜穂である。翔に与えられたサポートの一例を以下に示す。

あず ：お母さんがどこかで見てくれてるならさあ、笑ってた方が
 いいじゃん？
貴子 ：そうだよ。翔が元気なかったらお母さんも心配する。
翔 ：…心配？どうして？
萩田 ：おまえは知らないだろうが俺達がこんなに心配してるんだ。
 母親もっと心配してるだろ。

悲しみを経験した翔にとっては、とてもシンプルで重要なことではないが、いつでもいつでも母親を心配している感情的、精神的な状態で、
彼を落ち着かせることは非常に役に立つ。この支援はまた、彼が彼のすべての友人によって愛され、世話され、彼らの心配を感じることができると感じさせる。

結局、翔が自殺しようとしたとき、彼はそうすることを怖くなった。そうしている間に、翔は、共有された思い出が消えないようにしたいので、
彼は友達を離れたくないと感じている。おばあさんと彼の友達が必要としている気持ちは、もはや貝塚が欲望をやりたくないということ。彼が受け取ったサポートのおかげで、翔の精神状態ははるかに良くなり、さらに自信を得た。

結論

第3章で行った分析の結果、オレンジ漫画の主人公「翔」が自殺した理由は、次の2つの要因によるものであるという結論を書く：

1. 翔が経験した悲しみは精神的健康と感情を不安定にする。自殺で亡くなった母親のせいで、翔ことで経験した悲しみが流れにくくなった。周囲の環境の応答に応じて、翔が経験する悲嘆が改善または悪化する可能性がある。

2. 翔ことによって得られた社会的支援の欠如は、彼の精神的健康と感情を不安定にする。翔の悩みを知らない彼の友達には、必要なサポートを提供することはできない。

この分析では、翔が自殺するのを防ぐためにグループがどのような役割を果たしているかについても話し合った。周囲の環境によって提供されるすべての形式の支援の存在は、個人が環境に配慮され、必要と感ずるために、人の精神状態および感情を改善することができる。



DAFTAR ISI

DAFTAR ISI	i
HALAMAN PENGESAHAN	iii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iv
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	v
KATA PENGANTAR	vi
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang	1
1.2 Rumusan Masalah	4
1.3 Tujuan Penelitian.....	4
1.4 Metode dan Pendekatan Penelitian.....	4
1.5 Organisasi Penulisan	6
BAB II PSIKOLOGI SOSIAL, KAITANNYA DENGAN GRIEF SERTA DUKUNGAN SOSIAL	8
2.1 Psikologi.....	8
2.1.1 Psikologi Sosial.....	9
2.2 <i>Grief</i>	11
2.2.1 Pengertian <i>Grief</i>	11
2.2.2 Fase-fase <i>Grief</i>	13
2.2.3 Faktor-faktor Penyebab <i>Grief</i>	17
2.3 Dukungan Sosial.....	18
2.3.1 Pengertian Dukungan Sosial.....	18
2.3.2 Bentuk Dukungan Sosial	19
2.3.3 Sumber Dukungan Sosial	20
2.3.4 Dampak Dukungan Sosial	21
BAB III JISATSU TOKOH UTAMA KAKERU DAN PERANAN KELOMPOKNYA	23
3.1 Faktor Penyebab <i>Jisatsu</i> Tokoh Utama Kakeru	23
3.1.1 Kehilangan Ibu.....	23
3.1.2 Kurangnya Dukungan Sosial	36
3.2 Peranan Kelompok dalam Mencegah <i>Jisatsu</i>	45

BAB IV KESIMPULAN.....	60
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	64
DAFTAR PUSTAKA.....	65
SINOPSIS	67

